

## 答辞

厳しい十勝の冬もやわらぎ、ようやく春の暖かさを感じられる今日、私たち一四二名は高校生活最後の日を迎えました。

本日は、私たちのために、このように盛大な卒業証書授与式を挙行くださり、本当にありがとうございます。ごさいます。卒業生を代表して、心からお礼申し上げます。

今、白樺学園で過ごした日々を振り返ると、本当にいろいろなことが思い出されます。

三年前、この場所で入学式を迎え、最初は友達ができるのか、心配でした。しかし、だんだんお互いのことがわかっていき、はじめ

は静かだった教室も、次第に賑やかになっていた。きました。

思い返せば、入学してから仲間と共に歩んできた三年間は、本当にあつという間でした。クラスの仲間と過ごした何気ない日々も、今となつてはかけがえのない時間に思えます。過ぎ去った白樺学園での日々が短く感じられるのは、毎日の学校生活がそれだけ充実していた証だと思えます。心に残る行事もたくさんありました。

入学して初めての行事、宿泊研修は不安でいっぱいでしたが、ゲームをしたり、寝食を共にすることで、クラスの仲間意識も深まりました。学校に帰ってくると、明るい雰囲気がどこの教室からも感

じられました。

二年生になり、一番大きな行事、修学旅行。大阪、奈良、京都、東京に行きました。何ヶ月も前から準備に取り組みました。班の人と意見が合わずもめたこともありました。四泊五日はあつという間でした。友達といっぱい写真撮ったり、すごく楽しくて濃い時間を過ごしました。帯広空港で、皆と別れた後、少し寂しい思いを感じました。

三年生になり、最後の白樺祭は、クラス、学年はもちろん、「学校全体がひとつになる」ことを目標に、取り組みました。人数の少ないクラスや部活動で忙しいコースと、いろいろな課題をかかえながら、それを乗り越え、白樺祭当

日を迎えました。

クラスの団結を競い合った合唱。クラスの個性を活かしたステージ発表。クラス展示では体を張って皆を楽しませようとした「お化け屋敷」や「インスタ映え」など。これが最後だと思うと、涙が出てきてしまいました。

最終日の体育祭。綱引きでは、どのクラスも前に出て、学年もコースも関係なく応援していました。白樺の皆がひとつにまとまった瞬間だと感じました。最後に毎年恒例の三年生全員で円陣を組み、「愛してるぜ白樺」を大合唱しました。私の名が呼ばれ、皆に囲まれたことを一生忘れません。生徒会長をやらせてもらって、本当に幸せでした。

三年間を通して、がんばった部活動。どの部活も、厳しい練習を乗り越え、目標達成に向けて励んできました。仲間と切磋琢磨しながら、励まし合いながら。技術だけでなく、上下関係や礼儀作法など、多くの大事なことを学びました。一緒に泣いたり笑ったりしながら共に成長できたことは、何よりの収穫であったと心から思います。

いよいよ進路活動で忙しい時期に。自分の夢に向かって一生懸命頑張りました。小論文も、面接練習も、放課後遅くまで残って取り組みました。友達と一緒に、先生に教えていたただきながら。なかなかうまくいかなずに落ち込んでいるとき、「頑張れ！大

丈夫！」の言葉にどれだけ力づけられたことかわかりません。そんな皆に感謝の気持ちでいっぱいです。

在校生の皆さん、今までありがとう。卒業まではあっという間で。す。毎日を大切に、丁寧に、目標に向かって全力で進んでいてください。そして、この白樺学園をますます盛り上げていてくださいます。

傍にいた。おはよう」「また明日ね」の繰り返しも、ずっと続くと思っていた。今日で最後だと思おうと、とても寂しいです。長いようで短かったこの三年間、楽しいことばかりではなかったけれど……。私たちはこんなにも大切な仲間と出

会えました。だからこそ、今日と  
いう日まで、頑張ってこられたん  
だと思います。

これから歩む道はそれぞれです  
が、支えてもらった方々への感謝の  
気持ちと、白樺学園で学んだこと  
を胸に、目指す道を進んでいきま  
しょう。別れ別れの道は寂しい気  
持ちもあるけれど、この学年の  
「絆」がみんなの心にずっと残ってい  
てほしいなと思います。今まで本  
当にありがとうございます。

三年間、時には厳しく、そして  
優しくご指導くださいました先  
生方、本当にお世話になりました。  
私たちが困っているとき、アド  
バイスをくださいさり、できるまで付  
き合ってくださいました。そのお  
かげで、悩みに向き合い、自ら解

決することを学びました。掛けて  
いただいた言葉は、私たちの心の  
支えとなりました。本当にありが  
とうございました。

お父さん、お母さん、ありがと  
う。困らせたことも、心配を掛け  
たこともいっぱいあったけど、ごめ  
んなさい。いつも早起きしてお弁  
当をつくってくれてありがとう。  
寒い朝夕の送り迎えありがとう。  
嫌なことがあって元気のない私に、  
声を掛けてくれたにもかかわら  
ず、返事もしないような反抗も  
よくしてしまいました。ごめんな  
さい。「ありがとう」の気持ちをも  
直に伝えられなかったけど、言葉  
にできないほど感謝しています。  
これからは、少しでも家族に恩返  
しできる人になっていきたいと思

います。

私たちは、白樺学園で培った知識と精神を糧に、白樺学園の卒業生としての誇りを胸に、夢に向かって新たな一歩を踏み出すことを誓います。

最後になりましたが、私たちを支えてくださった全ての方々に、改めてお礼申し上げますと共に、白樺学園の更なる発展を願って、答辞とさせていただきます。

二〇二〇年三月一日

第六〇回 卒業生代表

今井 優華